

だいじょうぶ
つながる
こそだて

だっこ通信

第73号 2026. 8月発行



言いなりにならないぞ

子どもが小さいうちは、親がリードしていろいろなことを決めていきますよね。何を食べるか、どこに遊びに行くか、何を習わせるか・・・など。大きくなるにつれて子どもは「〇〇がいい」とか「〇〇はイヤ」など、自分の思いや考えを主張するようになります。それが激しくなる時期も何度かあります。（イヤイヤ期、反抗期、思春期など）ひと筋縄ではいかない時期です。親も心穏やかとはいきませんが、ちょっとずつコツをつかみながら、より良い親子関係を築いていけたらいいですね。



- ・ママやパパはいつも勝手に決めちゃう
言いなりにはならないぞ
- ・子どもだって自分の考えを話したい！
子どもの話をもっと聞いて！



〈どうする イヤイヤ期〉

- ・別のことに気持ちを向ける
- ・気持ちを想像し代弁する
- ・危ないことはその場で注意！

〈どうする 反抗期・思春期〉

- ・決めつけず、言い分や話を聞く
- ・監視ではなく「観察」
- ・やってはいけないことには毅然と！

NG!

- ・頭ごなし、威圧的な言い方
- ・親の都合だけで事を進める
- ・無理やり（あるいは力づくで）
気持ちや行動を切り替えさせる



オンフーのつぶやき



子どもが言うことを聞いてくれない時、親は困ってしまふよね。子どもの成長と共に新たな悩みが出てくるし、心配になったりつい怒ってしまったり・・・。そんな時って実は**子ども自身もいろいろな思いや感情で混乱したり葛藤したりしているんだと思う**。いつまでも幼かった頃のようにはいかない。子どもだっていろいろあるんだ・・・。だからこそ親は、日々変化している子どもをよく観察し、その子の思いを想像し、言い分を聞いたり折り合いをつけたりしながら「**親自身も成長していこう**」という心構えでいたいと思う。



オンフーにも経験があるよ。何とかしようと焦って、無理やり言うことを聞かせようとしたことが・・・。後で考えたら、子どもの言うことも一理あると反省したよ。いつまでも親の言いなりではないんだ。それが成長なんだ。そのことを喜ばしいと感じる余裕が親にも必要だったなあ・・・と。**親も日々アップデートしながら、子どもへのリスペクトを忘れないでいたい！**

発行者：さくら市生涯学習課（担当 s.suzuki）